



AYAのご紹介

第19回かながわ子ども・子育て支援大賞
プレゼンテーション審査会

特定非営利活動法人AYA
中川 悠樹 (代表理事)



法人概要

法人名 特定非営利活動法人AYA

所在地 神奈川県横浜市中区相生町3丁目61番地泰生ビル2F

設立 2022年1月1日 任意団体AYA 発足、2023年6月29日 特定非営利活動法人AYA 設立

代表理事 中川 悠樹 (医師：横浜労災病院で外科医・救急医として勤務)

病気や障がいのある子や医療的ケア児とそのご家族への、
「スポーツ・芸術・文化」に触れる場の提供

事業内容

- ・ スポーツ (観戦、体験 など)
- ・ 芸術 (音楽鑑賞、水族館鑑賞、プラネタリウム鑑賞 など)
- ・ 文化 (映画鑑賞、食事会、国内/海外への旅行 など)

HP

<https://aya-npo.org/>



AYA

現状 / 課題

厚生労働省の調査^{*1}

96.8%：「家族一緒に外出や旅行すること」を希望

17.2%：問題なく実現できている家族

AYAのアンケート調査^{*2}

69.5%：家族での映画鑑賞経験ゼロ

73.1%：娯楽施設へ出かける頻度「年に1回以下」

公教育外の「体験格差」の解消

病気や障がいを背景とした

why?

- ① 対象者が周囲の目を気にし、外出を控える（約92%）^{*2}
- ② 企業や団体（事業主）が受け入れを躊躇する

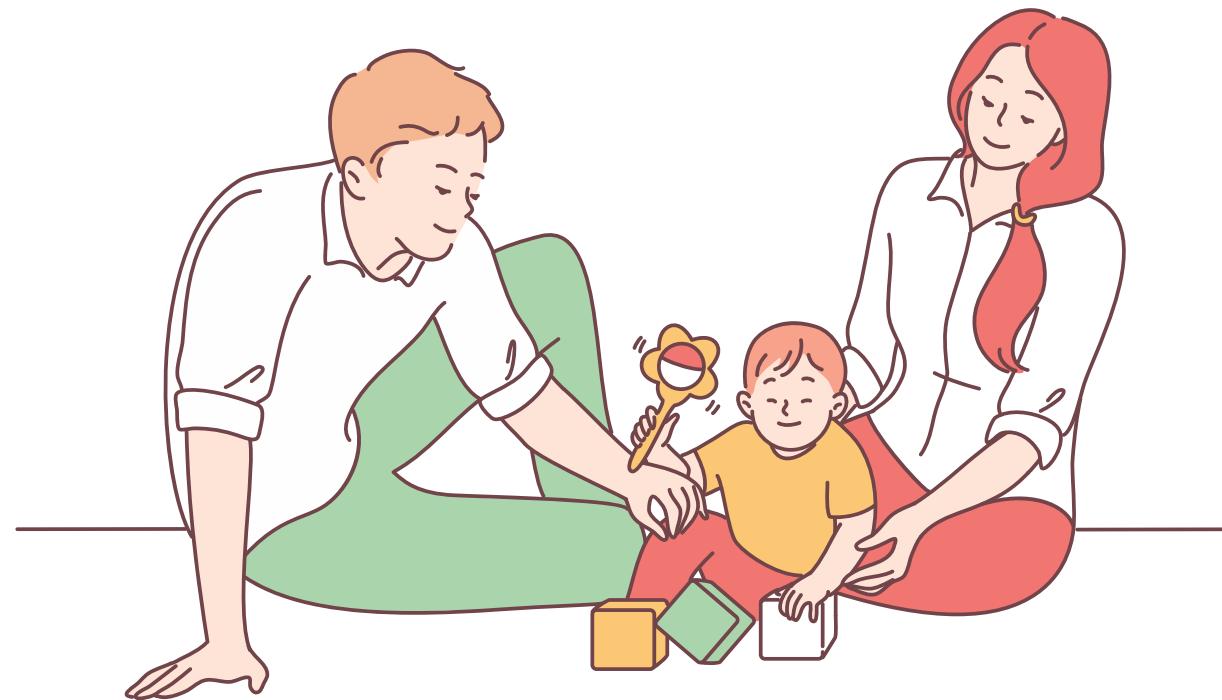


*1) 令和元年度障害者総合福祉推進事業 医療的ケア児者とその家族の生活実態調査 報告書

*2) 2024年に実施した「AYAインクルーシブ映画上映会」（有効回答数494件）のアンケート調査

役割 / 特徴

子どもたちや家族



事業者（企業や団体）



<AYAの強み>

① イベント運営力

- ・全イベントへ医療者帯同

② ネットワーク力

- ・全国の医療従事者
- ・行政 / 自治体
- ・各種業界（映画・スポーツ）

③ 架け橋力

- ・障がい者と事業者の間に立つ
第三者的立場



実績 <神奈川県>



イベント：30回
参加者：のべ 2,909名

スポーツ：17回
映画：8回
音楽：2回
プラネタリウム：1回
その他：2回

<開催地>

横浜市、川崎市、小田原市、鎌倉市 など



未来と役割

～ 目指したい未来 ～

『人々の心がつながり合い、可能性が広がる未来』

人々の心がつながると、できることが広がる。
その連鎖が、社会をやさしく動かしていく。
そしてその中心には、子どもたちがいる。
そんな未来をAYAは思い描いています。



AYA

～ AYAの果たす役割 ～

『病気や障がいのある子どもたちとその家族へ、 ワクワクする“ひととき”を届けます』

私たちAYAは、病気や障がいを理由にあきらめざるを得なかった体験を、
子どもたちとご家族に、安心して楽しめる形で届けたいと考えています。
そのひとときが、自分らしさを育み人とつながるきっかけになると信じています。